第4章 施策評価の結果

1 結果の概要

江南市では、第6次総合計画の進行管理を行うため、行政評価を行っています。市民と行政の協働により、総合計画に設定した目標を実現するため、行政が行う大きな行政活動単位である施策の評価と、個々の事務事業について、達成状況や効率性などについて評価する事務事業評価を行いました。

実施対象施策·事業数

·施策 75施策

·事務事業 570事業

(1)分野ごとの成果の達成状況

(件)

		設定した	月	以果の達成	状況の評値	西
	施策数	成果 指標数	*		T	_
Ⅰ まちづくり分野	19	37	27	4	2	4
Ⅱ ひとづくり分野	15	43	23	4	13	3
Ⅲ しごとづくり分野	4	6	2	2	2	0
Ⅳ ちいきづくり分野	21	44	27	6	5	6
V 行政分野	16	32	20	5	5	2
合 計	75	162	99	21	27	15

(2)事務事業の評価結果

〈必要性〉

公的関与の必要性や社会情勢及び市民ニーズから事業の『必要性』をA・B・C・Dの4ランクで判定しました。

〈有効性〉

総合計画において、市長の戦略政策や成果目標の達成に資する度合いや、サービス水準の設定から事業の『有効性』をA・B・Cの3ランクで判定しました。

〈達成度〉

設定した成果目標に対する『達成度』をA·B·Cの3ランクで判定しました。

〈効率性〉

事業の手法について、実施主体の 妥当性や事業費・人件費などの経済 性の観点から事業の『効率性』をA・ B・Cの3ランクで判定しました。

〈総合評価〉

上記の「必要性」、「有効性」、「達成度」、「効率性」の4項目の判定結果から、総合評価として「継続」、「改善」、「見直し」、「休止・廃止(「完了」含む)」の4項目で判定しました。

	評価	事務事業数
Α	必要性が高い	85
В	必要である	482
С	必要性が低い	3
D	必要でない	0

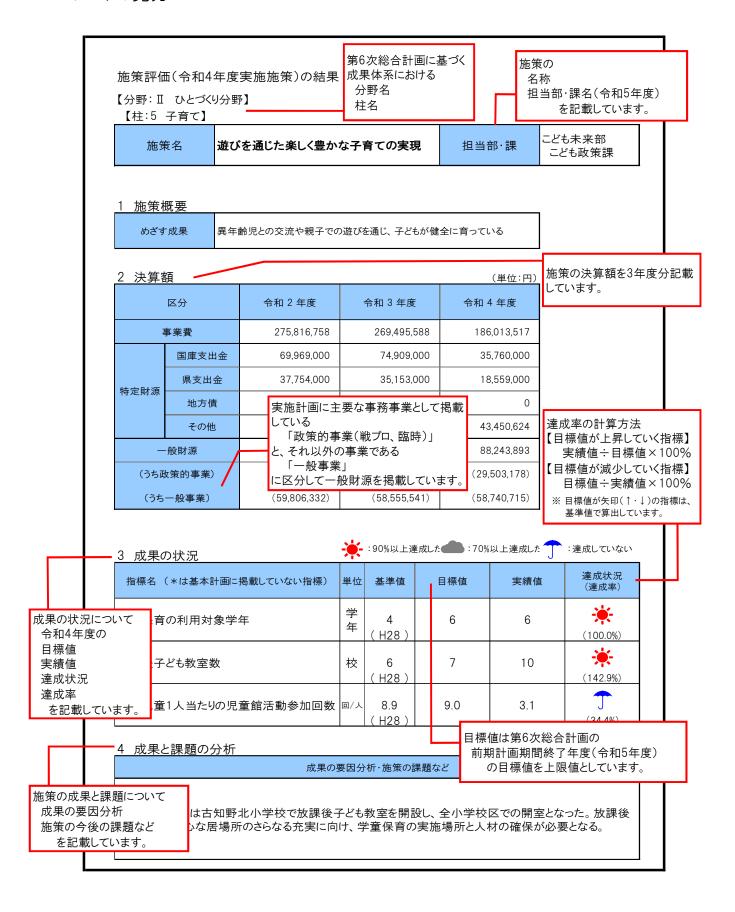
評価	事務事業数
A 非常に有効である	534
B ある程度有効である	36
C 有効でない	0

	評価	事務事業数		
Ā	大幅に達成している (目標を上回る成果があがっている)	4		
В	達成している (概ね目標どおり達成している)	558		
С	達成していない (目標を下回る成果しかあがっていない)	8		

	評価	事務事業数
Α	高い(改善の余地はほとんどない)	529
В	どちらともいえない(改善の余地は少ない)	41
С	低い(改善の余地は大きい)	0

評価	事務事業数
継続	551
改善改善	1
見直し	1
休止・廃止(「完了」含む)	17

2 シートの見方



施策に係る事務事業の 決算額 評価結果 を記載しています。

事務事業の決算額を3年度分記載しています。

5 施策の実現手段となる事務事業の評価結果

	0 /	世界の天地丁秋には			心不							
	事務事業		主要		決算額(円)			評価結果				
			施策	令和 2 年度	令和 3 年度	令和	14年度	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	1	児童館等維持運営事業		39,251,208	38,960,042	41	,008,833	В	А	В	А	継続
	2	児童館活動事業	•	15,264,165	16,937,320	15	,409,033	В	В	В	А	継続
	3	放課後子ども総合プラン事業 (放課後児童健全育成)	•	103,889,465	102,929,723	10	4,868,285	А	А	В	А	継続
	4	放課後子ども総合プラン事 業(放課後子ども教室)		15,381,723	19,500,700	21	,881,266	В	В	В	В	継続
	5	学童保育所整備等事業		95,123,166	88,716,897		61,600	В	В	В	В	完了
	6	子ども会活動助成事業		2418216	2 450 906	2	784 500	R	R	R	_	纵结
				l I								

■マークが付いている事務事業は、別ページに詳細を掲載しています。 掲載対象事業は、以下の事業です。

- ・実施計画に掲載した政策的事業(戦プロ、臨時)
- ・主要な一般事業

評価結果について								
	A:必要性が高い							
N == 1:4	B:必要である							
必要性	C:必要性が低い							
	D:必要でない							
	A: 非常に有効である							
有効性	B:ある程度有効である							
.H X) III	C:有効でない							
	5. 1% C&V							
	A:大幅に達成している(目標を上回る成果があがっている)							
達成度	B:達成している(概ね目標どおり達成している)							
	C:達成していない(目標を下回る成果しかあがっていない)							
	A:高い(改善の余地はほとんどない)							
効率性	B:どちらともいえない(改善の余地は少ない)							
	C:低い(改善の余地は大きい)							
	【必要性+有効性】							
	↑高							
	【総合評価判定方法】 改善継続 機続 成							
	右図のとおり各判定指標の 魔魔 産業の組合せにより判定 ← → +							
	現立し 見直し 対							
総合評価	休止・廃止							
ᄱᅜᆸᇚᄪ	 ↓低							
	 継続:継続して事業を進めることが適当な事業							
	改善:実施方法等に改善が必要な事業							
	見直し:事業規模・内容、実施主体等の見直しが必要な事業							

